

EMSニュース 第40号

2013.12.26

内部監査が終了しました

～目次～

内部監査が終了しました。

1 ページ

市民公開講座を開催しました

2 ページ

緊急事態テストの実施

2 ページ

生活系作業部会からのお知らせ

3 ページ

内部監査での有効事例の紹介

EMS 事務局からお知らせ

5 ページ

出雲キャンパスEMS
実施委員会

医学部及び附属病院
EMS対応委員会



オープニング・クロージングミーティングの様子



内部監査責任者



11月に平成25年度の内部監査を実施しました。

監査チームは、内部監査・スキルアップ研修に合格した内部監査員の資格を持つ教職員で編成しました。(1チーム5名ずつ計7チーム)

監査は、実地監査前に被監査部局等へチェックリストを送付、回答されたチェックリストを基に各内部監査チームでどういった監査を実施したらよいか検討(レター監査)を行い、その後実地監査に臨むという方法により実施しました。

附属病院で普段勤務している教職員が医学部へ、医学部で勤務している教職員が附属病院へ赴き、実地の監査を行いました。EMS文書に基づいた指摘もあり、EMSについての認識がさらに深くなる内容の濃い監査となりました。

監査結果は、有効事例が32件、観察事項が23件でした。今後は、指摘された観察事項について対応していくこととなりますので、確認、改善する事項についてはEMS推進員を通じて依頼がありましたら、ご協力方よろしくお願ひします。

内部監査員の皆さま、ご協力ありがとうございました。



実際の監査の様子

市民公開講座を開催しました



市民公開講座「身近な生活環境と健康～グローバルな環境汚染と健康～」を開催

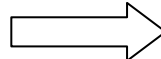
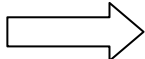
環境教育・研究作業部会では、本学の環境研究成果を地域へ還元する一環として平成 19 年度より毎年1回、環境に関する市民公開講座を開催しています。平成 25 年度は 11 月 30 日(土)に出雲キャンパスで「身近な生活環境と健康～グローバルな環境汚染と健康～」と題して、行政・本学の先生方及び学生 EMS 委員による講演会を開催しました。参加者は 24 名で出雲市外からの参加もありました。

講演会の内容は、**学生の EMS 活動、中国からの越境汚染による雨と斐伊川の窒素濃度上昇、PM2.5 による大気汚染と健康、放射線被曝と甲状腺疾患**でした。質疑応答も活発に行われ、参加者の関心の高さがうかがえました。参加者に講演会についてアンケートをお願いし、21 名(アンケート配布 24 名、回収率 87.5%)から回答がありました。講演の感想では「基礎的な知識をわかりやすく聞くことができた」、「身近な環境の汚染について関心を持った」等、おおむね好評でした。今後希望する講座内容として「子供の健康と環境の視点」、「原子力発電に頼らない社会」、「生活環境に対する市民の対応(やるべきこと)について」等の意見がありました。環境教育・研究作業部会では、アンケートの要望・感想等を参考にし、本学の環境研究成果を地域へ還元するため、本市民公開講座を今後も継続して開催していきます

緊急事態テストを実施しました

出雲キャンパス環境マニュアルでは、医学部及び附属病院における環境に有害な影響を与える可能性のある潜在的な緊急事態及び事故について、環境影響評価の実施により特定し、テストをすることとなっています。テストを実施することで、手順の確認、見直し及び修正等を図ることができるからです。

今年、12 月 5 日に特別管理が必要な化学物質の漏洩による緊急事態に対する対応訓練を実験系作業部会、施設課・会計課職員、総合科学研究支援センター生体情報・RI実験部門の職員にご協力いただき、実施しました。このテストでは、核燃料物質(国際規制物質)である酢酸ウラニルの水溶液(水溶液は国際規制物資対象外)の漏洩という緊急事態に対し、学内関係部署、学外関連署所に、迅速かつ正確に連絡を取り、適切な対応を行える体制について確認する事を目的としました。



漏洩した酢酸ウラニルの回収。

関係部署担当者に連絡。

専用の保管室で保管。

生活系作業部会からのお知らせ

● 用紙の適正使用について

4月から9月の用紙購入量は6,090千枚であり、前年度と比べ、692千枚の増加でした。用紙購入量は近年増加しており、今年度も増加することが予測されます。用紙購入量の増加について聞き取り調査を行った結果、診療、教育・研究、その他の業務において削減できない要因が強いことが分かりました。各部署で主体的にPDCAサイクルを導入し、用紙の適正な使用についてご協力をお願いします。

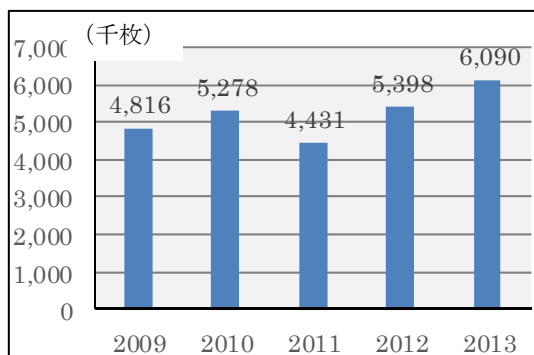
6月、9月、12月に講義室等に配布資料の余りが放置されていないか点検を行いました。数か所の講義室で配布資料の余りが放置されていました。担当者に聞き取り調査を行った結果、予備印刷をしたのではなく、欠席者の配布資料の回収忘れであることが分かりました。配布資料は必要部数のみとするよう、引き続きご協力をお願いします。

12月に用紙の有効利用について聞き取り調査を行いました。医学部、附属病院共に、個人情報に配慮した上で、裏紙や白紙を有効に利用していました。調査を行った附属病院B棟7階においては、患者入院時にプリントアウトされる用紙の個人情報は適切に管理し、余白はメモ用紙として使用する仕組みが作られ、運用されていました。また、裏紙の使用頻度が高い部署においては、「裏紙が不足しているため、裏紙の回収場所を作って必要な人が持ち帰ることができるようにしてほしい」などの要望が寄せられています。用紙の有効利用についての皆様の意識はとて高いことが分かりました。生活系作業部会では、皆様のご意見を基に、今後も用紙の適正使用に向けた活動を推進したいと思っております。新規採用職員や、学生にも積極的に周知していただきますようお願い致します。

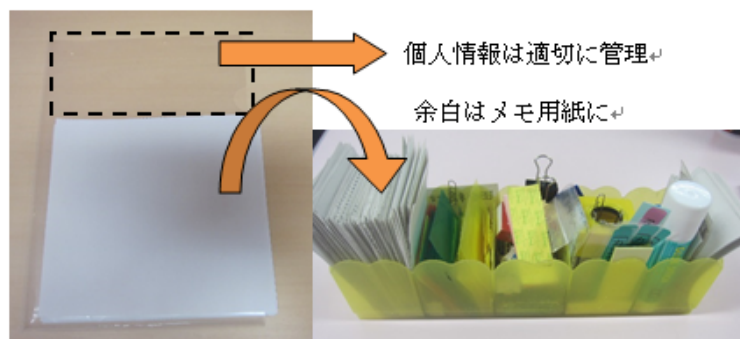
部署別用紙購入量データは、四半期ごとに更新していますのでご活用ください。

【掲載ページ】 環境に関する各種データ情報

http://www.shimane-u.ac.jp/intra/ems_izumo/ems_izumo07.html



図：用紙購入量の年次推移(4月～9月)



図：個人情報に配慮した上での用紙の有効利用(附属病院)

● 一般廃棄物排出量・リサイクル量について

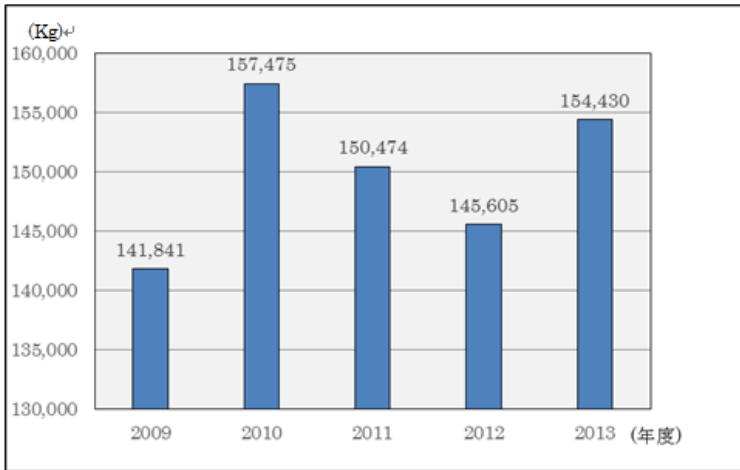
4月から9月の一般廃棄物の排出量は154tであり、前年度と比べて、8.8t増加しました。リサイクル量は53.8tであり、17t増加しました。今年度は、一般廃棄物排出量の増加、リサイクル量の大幅な増加が見込まれます。引き続き3Rの実践についてご協力をお願いします。

構成員からは、「一般廃棄物の減量のために、生ごみは乾燥させてから排出している」などの意見が寄せられています。また、附属病院や医学部看護学科においては、各階にペットボトルキャップの回収箱が設置されていなかったため、独自に回収箱を設置し、管理する仕組みが作られ、適切に運用されていました。さらに、ごみの分別を間違わないように、廃棄物回収マニュアルを一部抜粋したものをゴミ箱付近に掲示するなどの独自の工夫をされている部署もありました。個人単位、部署単位で様々な取り組みが行われており、構成員の意識の高さが伺えます。引き続き活動の推進をお願いします。

一般廃棄物排出量、リサイクル量のデータは、四半期ごとに更新していますのでご活用ください。

【掲載ページ】 環境に関する各種データ情報

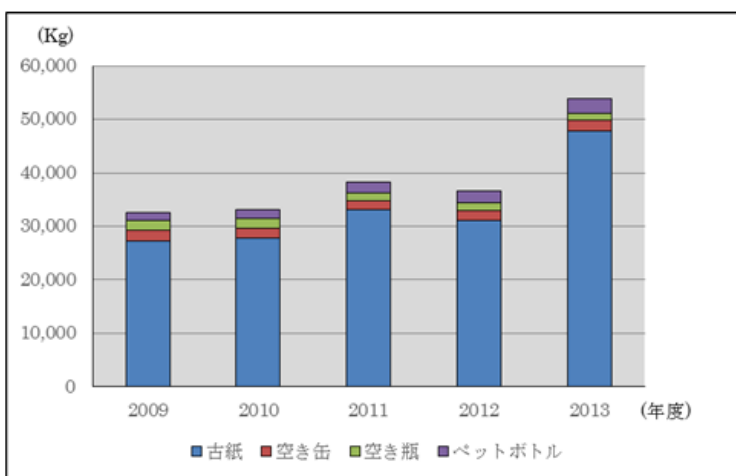
http://www.shimane-u.ac.jp/intra/ems_izumo/ems_izumo07.html



図：一般廃棄物排出量の年次推移（4月～9月）



図：ペットボトルキャップの回収箱の設置（医学部看護学科）



図：リサイクル量の年次推移（4月～9月）

● キャンパスポータルシステムについてのご案内

2012年9月の病院情報システムの更新に伴い、グループウェアの機能を備えたキャンパスポータルシステムが附属病院においても利用可能となりました。所属部署の枠にとらわれず自由にグループを作成し、ファイルフォルダ、スケジュール管理、掲示板等の機能をご利用頂けます。部門、教室、講義、委員会等での情報共有、ペーパーレス化に広くご活用ください。ファイルフォルダへのアクセスを院内に限定することも可能です。利用の申込手続き等については、情報ネットワークセンターまでお問い合わせください。

【連絡先】情報ネットワークセンター networkc@med.shimane-u.ac.jp 内線 2175



情報提供のお願い

用紙の適正使用や一般廃棄物の排出量低減に向けて、各部署で工夫されていることについての情報提供をお願いします。また、これらの取り組みによって業務の質が向上したなどのプラスの効果を得られた場合についてもお知らせください。

【連絡先】EMS 事務局 fpd-ikankyo@office.shimane-u.ac.jp 内線 2549

～内部監査での有効事例を一部紹介～

11月に実施した内部監査では、独自の工夫をこらした、良い取り組みをされている部署がいくつもありました。その中の一部をご紹介します。

☆臨床検査医学☆

実験に関する危険防止等の注意事項や廃棄物の分別方法について、留学生にも理解しやすいように、独自のポスター(英文)を作成し、掲示されていました。

是非、他の部局の方も参考にしてください。また、こんないい取り組みをしています！という部局がありましたら、EMS事務局までお知らせください。



EMS事務局からのお知らせ

1月は、運用管理点検実施月です。

EMS推進員の方はWebからの運用管理点検の入力にご協力願います。(100%の回答率となりますように！)

1月になりましたら、メールにて依頼させていただきます。

EMS事務局では、みなさんから省エネのアイデアを募集しております。

我が家での成功例など大学での省エネに有効なものがありましたら以下のEMS事務局までお寄せいただきたいと思います。ご協力をよろしく願います。

学内関係者用には、EMS関係会議の議事録、EMS研修の資料、環境に関する諸規則・マニュアル等が参照できますのでご利用ください。

その他、EMSに関するご意見等ございましたら、以下の連絡先又はホームページ「キャンパス環境投書箱」へお寄せください。

○島根大学出雲キャンパス EMS 事務局
財務部施設企画課(出雲)環境マネジメント担当
TEL 0853-20-2549
FAX 0853-20-2049
E-Mail fpd-ikankyo@office.shimane-u.ac.jp

○島根大学ホームページ「環境マネジメントシステム」
出雲キャンパスでのEMS活動内
キャンパス環境投書箱

